

公共事業の代替地の売却は

Q 代替地の今後はどのように考えているのか。公募などを通じて、分譲を考えては。

A 今後は、都市計画道路の計画にもよるが、活用の見込みを考慮して売却を検討していく。

町税の滞納回収は

Q 差押予告1064件、差押えは昨年より2倍267件になっている。滞納回収時のトラブルは。

A 差押を執行する前に差押予告などを送付し、納税相談などの機会を設けている。

きつずなホールの活用は

Q 住民憩いの場である「きつずなホール」の利用状況は。

A 押し花アートや、ひも細工などの展示に利用された。県知事選挙投票所としても使用した。

証明書コンビニ交付事業

Q コンビニで住民票などの交付が受けられる利便性の高い事業だが、現状の低い利用率向上のための対策は。

A 高齢者の方にも丁寧な説明をし、平日来庁困難な方など、多くの方に利用されるようなPR活動に努める。

電子図書館について

Q 平成28年度から町立図書館で実施している電子図書館での「海外新聞」などの郷土資料の活用は。

A 郷土資料館に収蔵しているジョセフ彦の「海外新聞」などの町指定文化財の活用について検討する。

土山駅駐輪場の増設は

Q 土山駅西駐輪場は、一時利用者が多く、使用できない場合がある。不法駐輪を無くすためにも増設の考えは。

A 時間によって使用できない場合は、民間の駐輪場を利用してもらいたい。今のところ増設は考えていない。



▲住吉橋



▲土山駅南のきつずなホール



▲向ヶ池公園の花壇



▲土山駅西駐輪場

橋りょうの安全点検は

Q 町内に設置されている橋りょうの安全性について、点検を行っているのか。

A 平成28年度は、町内23橋とJR土山駅自由通路の点検を行い、安全を確認している。

監理業務委託を入札に

Q 工事契約の際、設計業者に随意契約で監理も委託している。入札にするべきではないか。価格の妥当性は。

A 設計業者は工事内容を熟知しており、価格は適正であると考えている。

新幹線速度の対応は

Q 新幹線の速度が27年度と比較して、6~7km増している。速度についてJR西日本と協議をしたのか。

A 新幹線建設申請の中で、姫路以東は時速275kmまでと国の認可を得ており、範囲内であると確認している。

積極的な緑化推進を

Q 公共用地で、21団体が花と緑で飾るまちづくりの活動をしているが、さらに団体数を増やすための啓発は。

A 町のホームページで案内し、問い合わせなどはあった。今後、広報はりに定期的に掲載する。

臨時給付金の案内は

Q 今回の経済対策分は、2年半分の影響額として15,000円を給付するが、受付と申請漏れ防止の対応は。

A 臨時福祉給付金対象者の全員に封書で申請を依頼し、申請漏れ防止として、期限前に再度案内をしている。

本人通知制度の現状は

Q 本人以外からの戸籍謄本などの交付請求に対して、本人通知制度に基づき取得されたことを通知した件数は。

A 本人通知制度登録者は691名で、本人以外の請求で通知した件数は27年度52件、28年度は36件であった。